



▲年齢に合わせて、毎日行う体操（幌別東保育所）



▲保育士による絵本の読み聞かせ（栄町保育所）

新たな環境で より良い育みを

保育所の運営を民間委託

4 / 1

4月1日(水)、これまで、市が運営していた幌別東保育所と栄町保育所について、独自の教育や行事の実施など、民間活力を取り入れた新たな保育環境を構築するため、『学校法人登別立正学園』と『社会福祉法人彩咲会』への運営委託を開始しました。

幌別東保育所を運営する登別立正学園は、登別市を拠点に、認定こども園や保育所などを運営しており、『未来へはばたく6歳を育てる』を教育の柱として、体操を通じた体力づくりやさまざまなことに挑戦する心を育む保育が特色です。

また、栄町保育所を運営する彩咲会は、長年、地域における高齢者支援事業に携わっており、『未来を担う子どもたちを温かいまなざしで大切に育てていく保育所』を目指し、世代間交流や音楽に親しむ保育などへの取り組みを予定しています。

今後も、民間の活力を取り入れながら、多様な保育需要に対応する保育サービスの充実を図り、未来を担う子どもたちが安全に育まれるまちづくりを進めていきます。



▲婚姻届のデザインを考案した後藤奨平さん（左）と、出生届のデザインを考案した伊藤善那さん（右）

誰もが住みやすく暮らしやすいまちへ

共生社会ホストタウンに登録

4月7日(火)、登別市が東京2020パラリンピック競技大会の『共生社会ホストタウン』に登録されました。

パラリンピックの開催をきっかけに、ユニバーサルデザインのまちづくりや心のバリアフリーに向けた取り組みを実施する同ホストタウン。

市は、長年、友好関係にあるデンマーク王国を相手国として、障がいのある選手との交流や市内のバリアフリー化促進などに取り組み、障がいのある方もより安全安心に暮らすことができるまちづくりを進めていきます。

4 / 7

大切な思い出の1枚に

登別市市制施行50周年記念オリジナル婚姻届・出生届のデザイン考案者表彰式

3 / 27

3月27日(金)、市は、市制施行50周年を記念して作成した『オリジナル婚姻届』と『オリジナル出生届』のデザイン考案者に表彰状を手渡しました。

複写式の婚姻届と出生届には、ともに登夢くんが描かれ、市への届け出後にもカラフルにデザインされた届出書が手元に残る仕様になっています。

幸せをより感じてもらえるよう考案されたオリジナル婚姻届・出生届は、4月から市役所で希望者に配布しており、記念すべき日に花を添えています。



▲市が、取り組んでいる『あいサポート運動』は令和2年度で5年目を迎える（写真は、令和元年12月19日・幌別中学校）